# ピストル　ルール
# （ＰＲ）
# 国内適用規定

## ビームピストル

注：当規定の条項番号は競技ルール（ＰＲ）の条項番号に対応している。従って当規定の適用に関しては規則の目的を十分把握の上実行されたい。

8.1.1　本規定は国際競技規則（以下規則）の我が国への円滑なる適用、実行をその目的として制定される。競技会の実施にあたって問題等生じた場合、ジュリーは規則の目的に沿った解決、対処にあたらなければならない。規則に明記されない事態が生じた場合、選手に不利とならない公平な解決策をジュリーの責任のもとで採用するものとする。

8.2　我が国には独自の銃砲刀剣類所持等取締法があり、ゆえに他人の銃器の対する不用意な扱いは厳にこれを慎まなければならない。用具検査、安全に関わる事態に限り、規則を尊重する。

8.4　**用具と弾薬**

ピストル競技用具と弾薬の規格については、GTR6.7.6 並びに GTR 国内規定 6.7.6 も参照のこと。

**8.4.3-2　ビームピストルの特別規格**

8.4.3-2.1　ビームピストルは別に定める「検定基準」に合格したものであり、外観上ビームピストル射撃競技に使用されることが明らかであるものでなければならない。

8.4.3-2.2　競技は、屋内で実施されるものとする。

8.4.3-2.3　ビームピストル射撃競技の公認競技会における射撃距離（標的設置距離）は 10mとし、光学的反射を利用した射撃距離を採用してはならない。

8.4.4　**弾薬**

国内では弾薬に関する検査は、実施しない。

8.5.6　選手の靴の検査については、GTR6.7.6 並びに GTR 国内規定 6.7.6 も参照のこと。

8.6.1　国内では全ての種目で監的スコープが使用できる。

8.7.1　障害者が競技へ参加する場合について、日常生活において使用する義足については、人工的な支えとはみなさない。

8.7-2　**ビームピストル自由姿勢**

・射撃姿勢は、両手を使用すること及び着席することを含め制限されない。
・据銃姿勢をとるにあたっては、銃を保持するための支持具の使用が認められる。
・銃器を支持具に固定する装置等を有しない限り支持具の形状、設置方法は制限されない。
・支持具を車椅子に取り付けることは認められる。

8.9.4.3　**故障の原因の決定**

射場役員はその監視のもとに、選手に対して１回だけ引金を引くように指示を行い、引金機構が作動していたかを確かめなければならない。

## 8.11　国内実施種目とその競技時間

### ピストル種目一覧表（国内適用）

<table>
<tr><th rowspan="2">種目</th><th rowspan="2">男<br>／<br>女</th><th rowspan="2">発射弾数</th><th colspan="2">１枚の標的への<br>撃ち込み数<br>（紙標的のみ）</th><th rowspan="2">紙標的の試射的数</th><th rowspan="2">試射弾数</th><th rowspan="2">採点および紙標的の治痕</th><th rowspan="2">時間制限<br>（ＥＳＴ以外）</th><th rowspan="2">準備および試射時間</th></tr>
<tr><th>G1,G2</th><th>G3,G4</th></tr>
<tr><td rowspan="2">１０ｍ<br>エア<br>ピストル</td><td>男女</td><td>60</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">無制限<br>「準備および試射時間」内</td><td rowspan="2">審査室<br>にて</td><td>１時間１５分<br>（１時間３０分）</td><td rowspan="2">１５分間</td></tr>
<tr><td>女</td><td>40</td><td>５０分<br>（６０分）</td></tr>
<tr><td>５０ｍ<br>ピストル</td><td>男</td><td>60</td><td>5</td><td>１０</td><td>2</td><td>無制限<br>「準備および試射時間」内</td><td>審査室<br>にて</td><td>１時間３０分<br>（１時間４５分）</td><td>１５分間</td></tr>
<tr><td>２５ｍ<br>ラピッドファイア<br>ピストル</td><td>男</td><td>60</td><td>1<br>各選手<br>各ステージ毎に<br>新標的<br>（１＋６発毎）</td><td>1<br>１連射毎<br>に治痕</td><td>5</td><td>各ステージ<br>において<br>８秒射５発<br>１シリーズ</td><td>各シリーズ<br>の後</td><td>８秒射、６秒射、４秒射<br>各２回の５発シリーズの<br>合計３０発の<br>ステージを２回</td><td>３分間</td></tr>
<tr><td>２５ｍ<br>ピストル</td><td>女</td><td>60</td><td>１０</td><td rowspan="3">５発の<br>各シリ<br>ーズ毎<br>に治痕</td><td rowspan="3">1</td><td rowspan="2">各ステージに<br>おいて<br>５発１シリーズ</td><td rowspan="3">各シリーズ<br>の後</td><td rowspan="2">精密ステージ<br>５分間で５発シリーズを<br>６回の合計３０発<br>速射ステージ<br>速射で５発シリーズを６<br>回の合計３０発</td><td rowspan="3">精密<br>ステージ<br>５分間<br><br>速射<br>ステージ<br>３分間</td></tr>
<tr><td>２５ｍ<br>センターファイア<br>ピストル</td><td>男</td><td>60</td><td>１０</td></tr>
<tr><td>２５ｍ<br>スタン<br>ダード<br>ピストル</td><td>男</td><td>60</td><td>１０</td><td>１５０秒射の<br>５発１シリーズ</td><td>１５０秒射<br>２０秒射<br>１０秒射<br>各４回の<br>５発シリーズ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ビームピストル</td><td>男女</td><td>60</td><td colspan="2" rowspan="2">1</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2">無制限<br>「準備および試射時間」内</td><td rowspan="2">自動採点</td><td>４５分</td><td rowspan="2">１０分間</td></tr>
<tr><td>男女</td><td>40</td><td>３０分</td></tr>
<tr><td>ビームピストル自由姿勢</td><td>男<br>女</td><td>２<br>０</td><td colspan="2">1</td><td>－</td><td>無制限<br>「準備および試射時間」内</td><td>自動採点</td><td>２５分</td><td>１０分間</td></tr>
<tr><td>ハンドライフル</td><td>男<br>女</td><td>４<br>０</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>無制限<br>「準備および試射時間」内</td><td>審査室<br>にて</td><td>６０分</td><td>１５分間</td></tr>
</table>

注１：準備と試射時間は印刷された開始時刻の前に始まる。
　　開始以降は、本射のみ撃つことが出来る。
注２：表中のＧ１～Ｇ４の表記は、公認競技会の格付規程による。
注３：標的交換設備のない場合の競技時間は、別途競技運営委員会が定める。
注４：多文的を使用する場合、ジュリーが許可した場合を除き、試射的のみに試射を行わなければならない。